

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策 I-1-4 企業誘致の推進
---------	------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	企業立地課長 横原 由文	電話番号	0852-22-5764
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	工業団地の整備及び管理等事務		
目的	(1) 対象	ソフトビジネスパーク島根	
	(2) 意図	「自然と調和する公園の中の研究開発ゾーン」というコンセプトを確保し、企業団地としての魅力の維持及び向上を図る。	
事業概要	ソフトビジネスパーク島根の魅力の維持向上を図る。 ・情報基盤維持管理事務 研究開発型企業が集積に不可欠なインフラである情報基盤を維持管理する。 ・公園維持管理事務 企業団地としての魅力の維持及び向上を図るため、パーク内の公園を維持管理する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		3.00	3.00	3.00	
式・定義	ソフトビジネスパーク内の新たな立地企業数	実績値	2.00	4.00	4.00	6.00		社
		達成率		133.30	133.30	200.00		%
指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		0.00	0.00			
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	12,976	12,788
うち一般財源(千円)	12,976	12,788

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・平成26年度は6社（団地進出決定1社、レンタルオフィス入居5社）の立地認定を行い目標の3社を上回った。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・インターネット接続環境、公園管理等を適切に行うことがソフトビジネスパークの魅力維持、向上となり、立地企業の増加につながった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・入居企業の従業員の利便性を向上させる施設の不足。

②困っている状況が発生している「原因」

・コンビニエンスストアや銀行ATM等の利便施設の設置が進まない。

③原因を解消するための「課題」

・利便施設のさらなる充実を図り、魅力ある工業団地を形成すること。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・コンビニエンスストア及び銀行ATMともに、さらなる企業集積により利用客の増加を図り、出来るだけ早期に設置できるようにコンビニエンスストア事業者等へ働きかける。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）